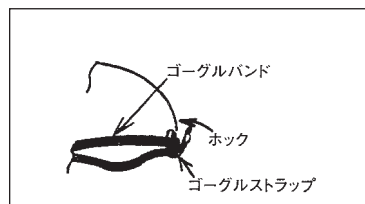


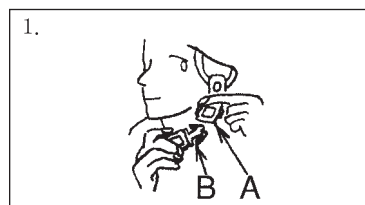
● ゴーグルストラップの取扱い

ゴーグルをご使用の方は、右図の様にヘルメットの後部にゴーグルバンドをセットしゴーグルストラップのボタンをはめて下さい。他の用途には使用しないで下さい。

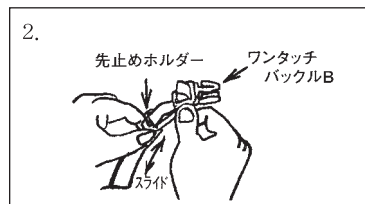


● ワンタッチ締め具の操作方法

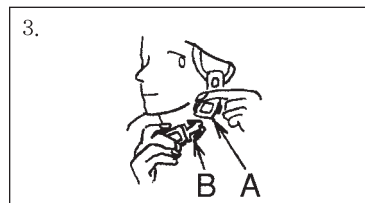
1. 右図の様に、ワンタッチバックルAにBを「カチッ」と音がするまで差し込んで下さい。AとBの表裏を逆に差し込まないで下さい。



2. あごひもの長さをゆるみのない様に、ご自身の最適長さに調整して下さい。先止めホルダーをワンタッチバックルB側へ移動させると長くなります。短くするときはバックルに通っているひもをゆるめてから先止めホルダーをバックルと反対側へ移動させます。

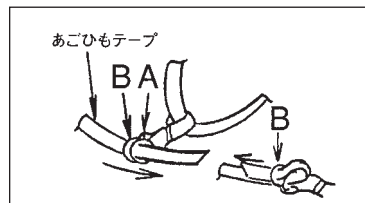


3. あごひもを解除するときは、ワンタッチバックルAの両サイドを親指と人差し指で押して下さい。



● リング式締め具の操作方法

右図の様に、リング2個(A・B)にあごひもテープを通しさらにBのリングに折り返す。テープをしっかりと引っ張り、ゆるみのない様に締めて下さい。

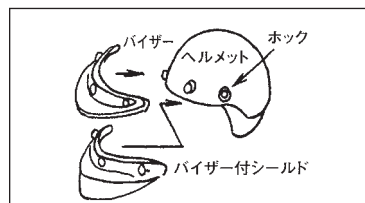


● バイザー及びバイザー付きシールドの取付けと取外し方法

バイザーのボタン位置(左右)を調節しながらヘルメット本体のホックに確実に取付けます。

取り外すときは一気に引き剥がさず、1カ所ずつバイザーの内側から指で押し上げる様にして順に外して下さい。

(特にシールド本体を持って引き剥がすと可動部の破損原因にもなります。)



乗車用ヘルメット 取扱い説明書

ご使用になる前に必ずお読み下さい。

ヘルメットをご使用の前に、この取扱い説明書を読み、正しくご使用下さい。
お読みいただいた後は、大切に保存して下さい。
尚、取扱い説明書を紛失した場合は、メーカーに請求して下さい。

販売元 スターライト工業株式会社
セーフティ・ライフサポートカンパニー

本社：大阪市旭区大宮4丁目23番7号
TEL 06-6951-0251

東京支社：東京都港区新橋6丁目16番12号(京阪神御成門ビル4F)
TEL 03-3459-0330

製造元 スターライト工業株式会社
セーフティ・ライフサポートカンパニー

兼事業所：滋賀県栗東市上砥山2222番地
TEL 077-558-2631

ご使用になる前に必ずお読み下さい。

- ・この度は当社のヘルメットをお買い上げ頂き、有難うございます。
- ・この取扱い説明書はヘルメットの正しい取扱い方法について説明しております。
- ・ご使用になる前に必ずお読み頂き、安全で快適なバイクライフをお楽しみ下さい。

SGマークの補償制度について

このヘルメットは国が定めた「消費生活用製品安全法」の技術上の基準に対応し、製品安全協会が定めた「認定基準及び基準確認方法」に合格したもので、合格品にはSGマークのラベルが貼られています。

「認定基準及び基準確認方法」は、頭部の安全を確保する為の最低基準を定めたものであって、SGマークが常に安全を保障するものではありません。

SGマークが貼り付けされたヘルメットは、万一ヘルメットの欠陥（シールド等の付属品を除く）により人身事故が発生した場合、SGマーク被害者救済制度による損害賠償の対象となります。認定基準に適合していない為に着用者が損害をこうむった場合に、その損害を賠償するものです。

ヘルメットの改造、部品の取外しをしている場合、又プロオートバイレースやサーカスなど特殊な使い方をしている場合には、SGマーク補償制度の対象にはなりません。

本書では正しい取扱いに関する必要な事項を下記シンボルマークで表示しています。



警告

取扱いを誤った場合、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示しています。



注意

取扱いを誤った場合、傷害に至る物損的傷害の発生が想定される場合を示しています。



警告

ヘルメットの保護能力について

スターライトヘルメットは国が定める安全基準を十分満足しておりますが、いかなる事故や転倒に対しても絶対安全という訳ではありません。ヘルメットは万一事故や転倒の際外部からの衝撃を軽減するものです。



注意

必ず守って頂きたい事項

① 頭に合ったサイズのヘルメットをお使い下さい。

大きすぎるヘルメットは、走行中ぐらつき危険です。また小さすぎるヘルメットは頭を締めつけ痛くなってきます。首を振っても簡単にズレない、頭に合ったサイズのものをお使い下さい。

② あごひもはしっかり締めて下さい。

あごひもを締めなかったり、ゆるい締め方では風圧でズレたり、万一転倒した時などに脱げてしまい、頭を守ることができません。



必ず守って頂きたい事項

③ 大きな衝撃を受けたヘルメットは、外観に損傷が無くてもご使用にならないで下さい。

- ・ヘルメットはシェル及び衝撃吸収ライナーがつぶれていることにより衝撃を吸収します。一度衝撃を受けたら既にライナーがつぶれている場合が多く、これではいざという時に再度衝撃エネルギーを吸収できず非常に危険です。
- ・ご自身で判断がしにくい場合は、お気軽に当社にご相談下さい。

④ ヘルメットは絶対に改造しないで下さい。

- ・ヘルメットに穴をあけたり削ったりすることは、ヘルメット本来の性能を損ない、非常に危険です。また脱着可能な部品を取り外しての走行も大変危険ですので絶対にしないで下さい。

⑤ バイザー付きシールド(風防)に関する注意事項

- ・走行中のバイザー付きシールドの操作は、オートバイの操作に支障をきたす原因となり危険です。必ず停止して操作して下さい。
- ・汚れや傷のついたバイザー付きシールドは視界の妨げになりますので、シールド面の汚れを落とし、また傷のついたバイザー付きシールドは新しい物と交換して下さい。
- ・突然の雨や急激な温度変化によりシールド面が曇る場合があります。この様な状況が予測される時は、シールドの角度を調節し、通常よりもスピードをおさえて走行して下さい。

⑥ ヘルメット及びバイザー付きシールドのお手入れについて

- ・ヘルメット及びバイザー付きシールドのお手入れは、薄めた中性洗剤を使用し、柔らかい布で汚れを拭き取って下さい。
- ・熱湯(50℃以上)や塩水、ベンジン、シンナー、ガソリン等を使用しますと、ヘルメット本体及びバイザー付きシールドに悪影響を与えますので絶対に使用しないで下さい。

⑦ ヘルメットに塗装することは、絶対にしないで下さい。

- ・塗料中の有機溶剤により、シェル及び衝撃吸収ライナーが侵され、ヘルメットの衝撃吸収力が急激に低下し非常に危険です。

⑧ ヘルメットを持ち運ぶ時のご注意

- ・ヘルメットを持ち運ぶ場合は、必ず本体又はあごひもを持って下さい。内装やバイザー付きシールドを掴みますと、ヘルメットを落とすおそれがあります。またヘルメットをバイクのホルダー等に取り付けたままの走行は、ヘルメットを傷つける他、操縦に支障をきたすことがあり危険です。

⑨ ヘルメットを高温になる場所に保管しないで下さい。

- ・直接日光のあたる車内や暖房器の近く等高温になる場所に長時間放置しますと、帽体の変色や衝撃吸収ライナー等の変形による衝撃吸収性能が低下する恐れがあります。

⑩ ヘルメットの交換の目安について

- ・ヘルメットの交換の目安は3年です。正常に使用されていても、目に見えない材料の劣化が進み、ヘルメットの性能は低下してきます。購入後3年を過ぎたヘルメットは、事故や転倒の際に十分な保護性能を発揮しない恐れがありますのでお早めに新品のヘルメットと交換して下さい。

⑪ 部品の交換

- ・バイザー及びバイザー付きシールドについては、交換部品を用意しております。また、その他の部品交換についても、販売元にお問い合わせ下さい。